

# 災害・オウム対策調査特別委員会 情報連絡

令和4年7月4日

情報連絡事項	頁
1 アレフに対する公安調査庁の立入検査について . . . . .	2
2 災害協定の締結について . . . . .	3
3 令和4年度足立区・消防署総合水防訓練の実施結果について . . . . .	4

(危機管理部)

# 災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和4年7月4日

件名	アレフに対する公安調査庁の立入検査について
所管部課名	危機管理部 危機管理課
内容	<p>団体規制法に基づくアレフに対する公安調査庁の立入検査について、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 実施日</b> 令和4年4月14日（木）</p> <p><b>2 検査場所</b> 新保木間施設</p> <p><b>3 検査結果概要（公安調査庁のホームページより）</b></p> <p>（1）公安調査官の動員数は17名。 このうち施設内に立ち入った調査官は12名。</p> <p>（2）施設内の検査を実施した。</p>
問題点 今後の方針	今後も情報収集に努めていく。

# 災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和4年7月4日

件名	災害協定の締結について
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課
内容	<p>災害協定を締結したので、以下のとおり報告する。</p> <p><b>1 災害時における輸送業務等に関する協定</b></p> <p>(1) 協定先          [名称] 有限会社朝陽観光バス          [所在地] 埼玉県久喜市所久喜748番1号          [代表者] 取締役 浮舟 崇弘</p> <p>(2) 協定締結日          令和4年5月20日</p> <p>(3) 協定概要          以下の事項について協定先に協力要請する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 応急対策を行うために必要な人員の避難所等への輸送業務</li> <li>・ 要配慮者を一次避難所から二次避難所等へ輸送すること</li> <li>・ 応急対策を行うために必要な医薬品等の物資輸送業務</li> </ul> <p><b>2 災害時における災害対応の拠点等の利用に関する協定</b></p> <p>(1) 協定先（下記施設を保有する事業者）          [名称] 足立成和信用金庫          [所在地] 東京都足立区千住一丁目4番16号          [代表者] 理事長 土屋 武司</p> <p>(2) 受入れ施設（震災時を想定）          [施設名] 足立成和信用金庫 創業支援施設「あかつき」          [住所] 足立区千住旭町11番7号</p> <p>(3) 協定締結日          令和4年6月27日</p> <p>(4) 協定概要          大地震が発生し公共交通機関の運行が停止することにより、北千住駅前に滞留者が発生し、避けるべき二次被害が発生するおそれがある場合に、創業支援施設「あかつき」を災害対応の拠点等として利用を要請する。</p>
問題点 今後の方針	<p>本協定に基づく協力体制が円滑に行われるよう、必要に応じて防災訓練等への参加を促していく。</p>

# 災害・オウム対策調査特別委員会情報連絡

令和4年7月4日

件名	令和4年度足立区・消防署総合水防訓練の実施結果について
所管部課名	総合防災対策室 災害対策課、防災力強化担当課 都市建設部 都市建設課、事業調整担当課
内容	<p>令和4年度足立区・消防署総合水防訓練の実施結果を以下のとおり報告する。 なお、今年度は昼間と夜間の2部構成とし、第二部（夜間の部）では、全国で初めて実際の線路上における土のう積み及び止水板設置訓練を実施した。</p> <p><b>1 第一部（昼間の部）</b></p> <p>(1) 実施日時 令和4年5月27日（金） 午前9時00分から午前12時00分</p> <p>(2) 実施場所 荒川右岸河川敷日ノ出町緑地（柳原1丁目17番先）</p> <p>(3) 参加機関等（計51名参加） 区職員11名、消防団10名、消防署30名</p> <p>(4) 訓練内容 ・ マンホール噴出防止工法等の土のう積み訓練</p> <p>(5) 訓練成果 昨年度は新型コロナウイルス感染症を考慮し、区職員及び消防署のみの参加であったが、今年度は消防団員の参加が可能となったことで、より地域と連携した実践的な訓練となった。</p> <p><b>2 第二部（夜間の部）</b></p> <p>(1) 実施日時 令和4年5月28日（土） 午前1時00分から午前3時00分</p> <p>(2) 実施場所 京成本線荒川橋梁（柳原1丁目17番先）</p> <p>(3) 参加機関等（計105名参加） 区職員49名、消防団6名、消防署26名、京成電鉄株式会社22名 荒川下流河川事務所2名</p> <p>(4) 訓練内容 ・ 鉄道軌道敷内における土のう積み及び止水板設置訓練 ・ 夜間照明器具の設置及びドローン操縦訓練</p> <p>(5) 訓練成果 区内でも越水危険が高い実際の場所で、鉄道の運行停止、安全確認、工法の着手、止水板の設置等の一連の行動を関係機関と連携し実施したことで、有事の際の水防力向上を図ることができた。</p>

### 3 訓練実施状況

#### (1) 第一部 (昼間の部)



#### (2) 第二部 (夜間の部)



問題点  
今後の方針

- 1 今回の京成本線荒川橋梁における訓練を踏まえ、今後の継続的な連携訓練の要否について検討していく。
- 2 新型コロナウイルス感染症を考慮し、町会・自治会、関係機関等の参加を見送ったが、次年度は参加範囲の拡大を念頭に検討していく。